



令和5年8月25日

国土交通省関東地方整備局

東日本高速道路株式会社関東支社

第3回 圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議の開催結果について

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の千葉県区間における休憩施設の現在の事業進捗状況等について、国土交通省、千葉県及び東日本高速道路株式会社で情報共有を図るため、第3回 圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議を開催しましたので、開催結果をお知らせします。

開催日時：令和5年8月25日（金）11時30分から12時30分

会議形式：Web会議

構成機関：国土交通省 関東地方整備局 道路部 計画調整課

千葉国道事務所

常総国道事務所

千葉県 県土整備部 道路計画課

東日本高速道路株式会社 関東支社 建設事業部 建設事業統括課

千葉工事事務所

つくば工事事務所

議事概要：別添のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 千葉県政記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 道路部 計画調整課

電話：048-601-3151（代表）

課長 小野寺 純一（おのでら じゅんいち） 課長補佐 宮沢 大輝（みやざわ ひろき）

東日本高速道路株式会社 関東支社 広報課（平日 9:00～17:00）

電話：048-631-0222

圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議 名簿

所 属	役 職	備 考
国土交通省	関東地方整備局 道路部 計画調整課長	議長
	関東地方整備局 千葉国道事務所長	
	関東地方整備局 常総国道事務所長	
千葉県	県土整備部 道路計画課長	
東日本高速道路株式会社	関東支社 建設事業部 建設事業統括課長	
	関東支社 千葉工事事務所長	
	関東支社 つくば工事事務所長	
事務局	国土交通省 関東地方整備局 道路部 計画調整課	

第3回 圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議 開催結果概要

令和5年8月25日（金）

〈議事要旨〉

国土交通省関東地方整備局、千葉県及び東日本高速道路株式会社関東支社の3者は、今回の調整会議において、以下のとおり意見交換及び確認した。

■神崎PA（仮称）と山武PA（仮称）の事業進捗状況と課題

【神崎PA（仮称）】

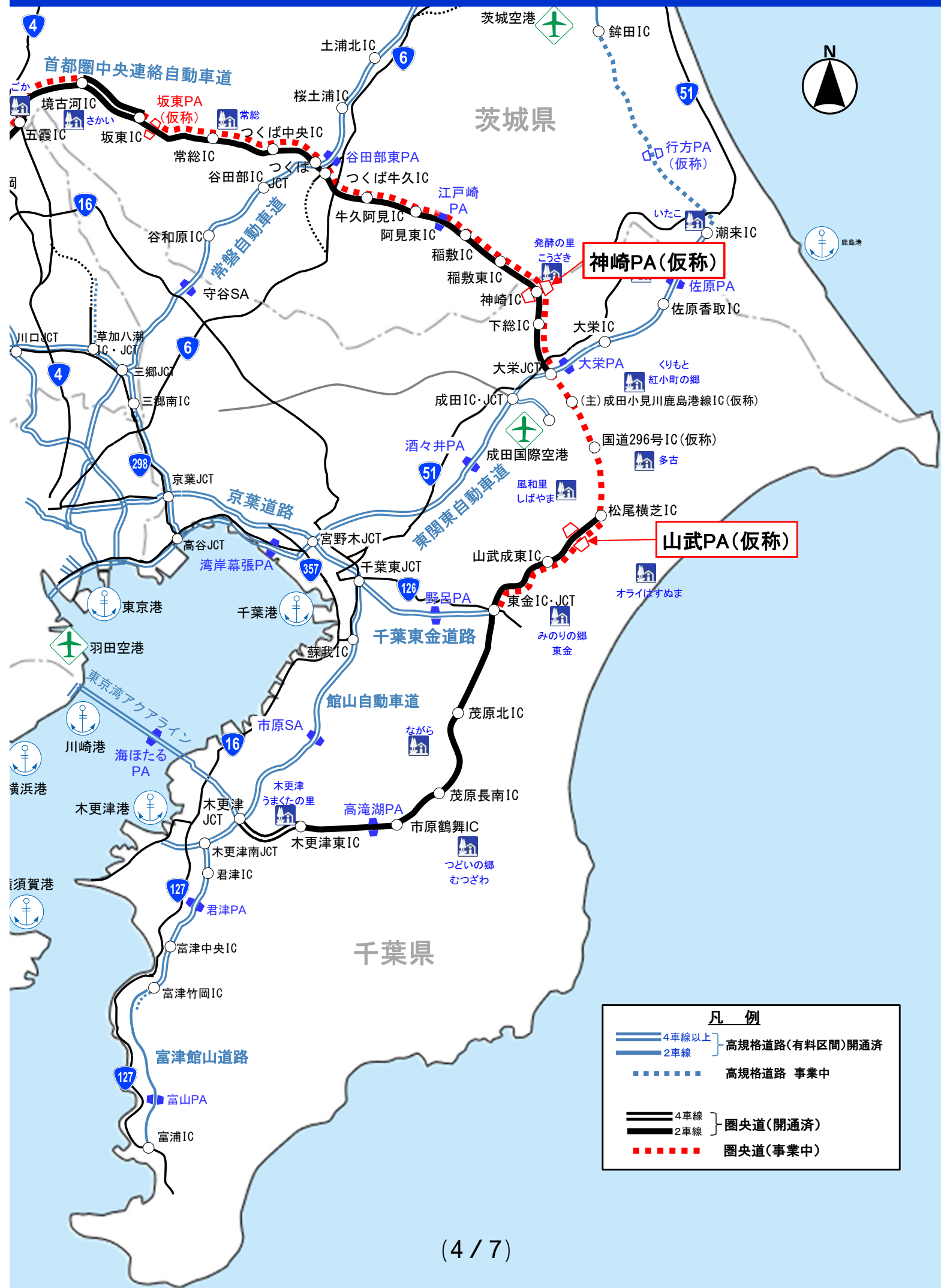
- 必要となる用地は取得済み。
- 工事は全区間で着手し、自治体の協力のもと、鋭意実施中。
- 用地交渉に時間を要したこと、重金属が検出されたことへの対応により工事着手が遅延。
- 今後、地盤改良や構造物など複数工事が最盛期となるが、狭小な施工ヤードにおいて神崎ICの交通を確保しながら安全に実施するために、綿密な施工調整が必要な状況。
- 隣接する圏央道の神崎IC～大栄JCT間の4車線化工事においても入札不調や借地交渉の結果による工事用進入路の構造変更のため、工事着手の遅延が発生しており、引き続き関係者連携のもと、早期整備に向け事業を進めるとともに、新たな課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。

【山武PA（仮称）】

- これまでに測量及び地質調査が完了しており、現在、概略設計を実施中。
- 今後、用地取得に向けた境界確認、幅杭設置を進める予定。
- 引き続き、圏央道（大栄JCT～松尾横芝IC）の進捗状況も踏まえ、早期供用を目指すとともに、課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。

以上

圏央道(千葉県区間)



凡例	
	4車線以上
	2車線
} 高規格道路(有料区間)開通済	
	高規格道路 事業中
	4車線
	2車線
} 圏央道(開通済)	
	圏央道(事業中)

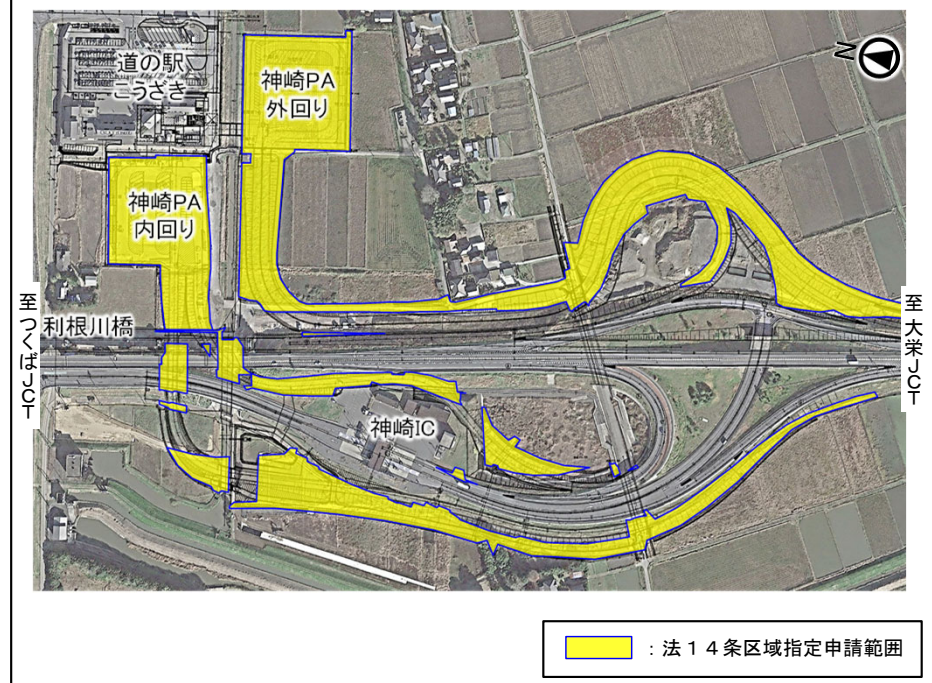
首都圏中央連絡自動車道 神崎PA (仮称) 工事の課題

○用地交渉に時間を要したこと、重金属が検出されたことへの対応により工事着手が遅延。
 ○今後、地盤改良や構造物など複数工事が最盛期となるが、狭小な施工ヤードにおいて神崎ICの交通を確保しながら安全に実施するために、綿密な施工調整が必要な状況。

課題① 用地取得
 ○用地交渉に時間を要し、用地取得が遅延。

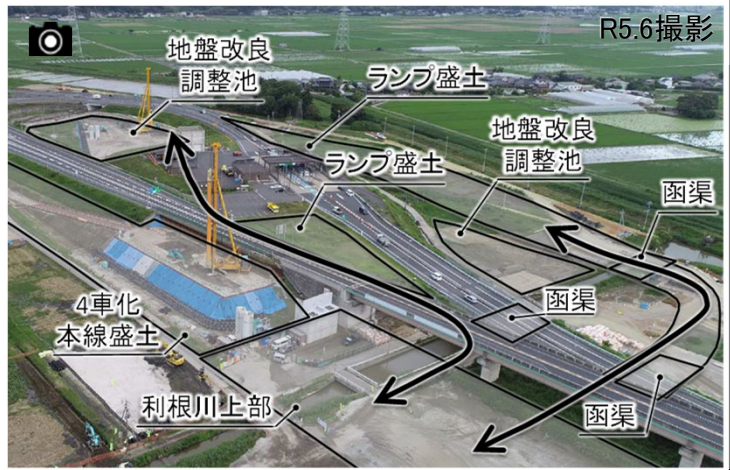
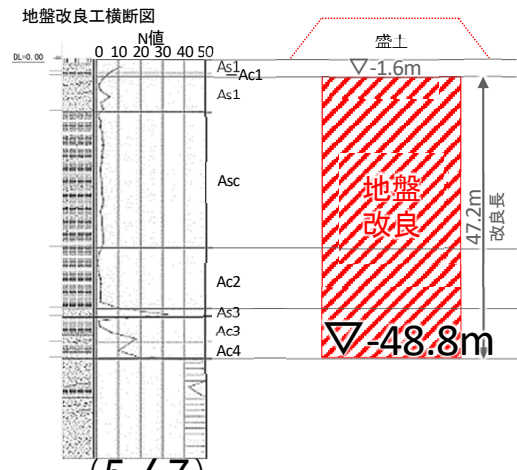
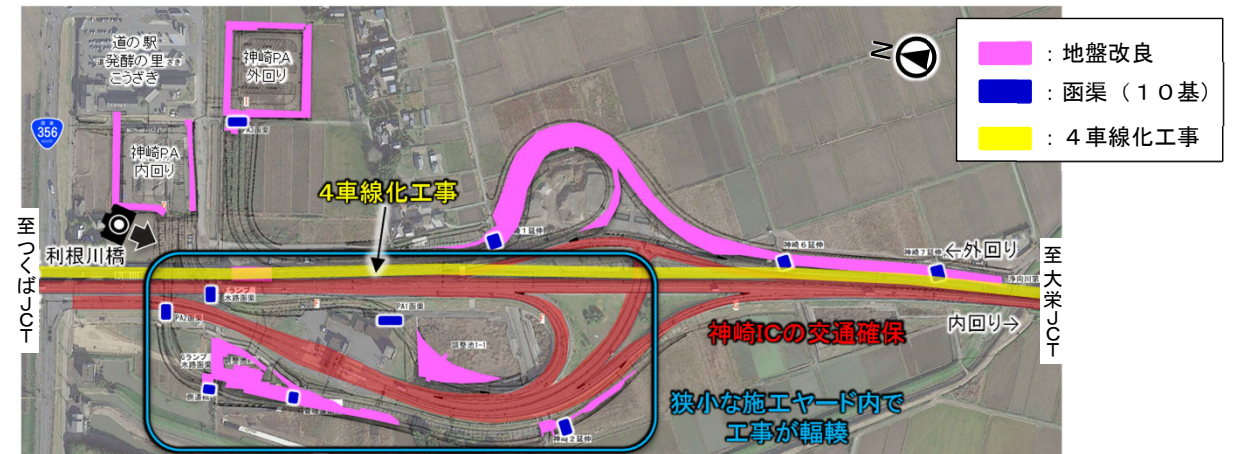
課題② 重金属の対応
 ○重金属が検出され、土対法手続き期間が追加。

土対法14条 区域指定申請範囲



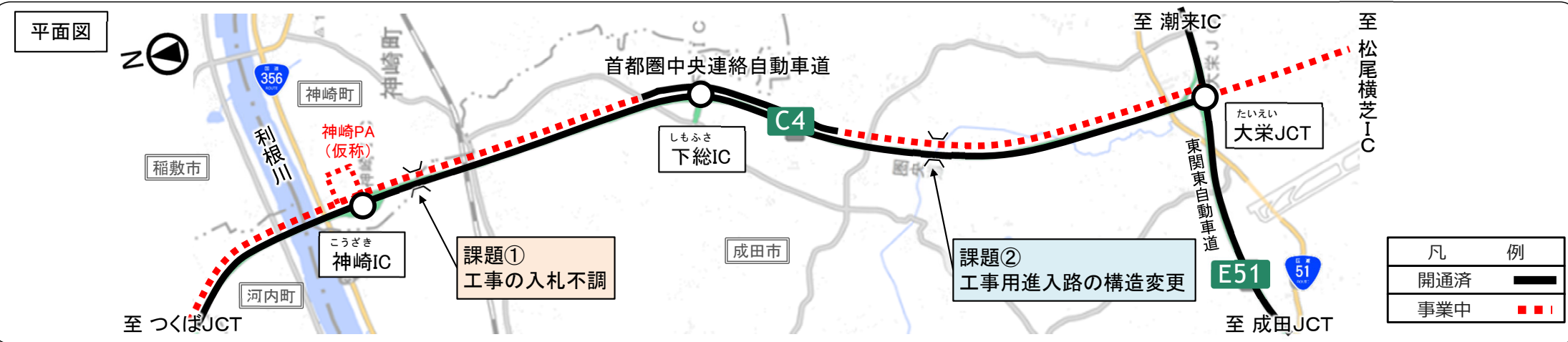
課題③ 今後の施工について
 ○全面的に深さ50mの地盤改良や函渠10基などの施工が必要。
 ○狭小な施工ヤードにおいて神崎ICの交通を確保しながら安全に実施するために、綿密な施工調整が必要。

平面図(今後の施工)



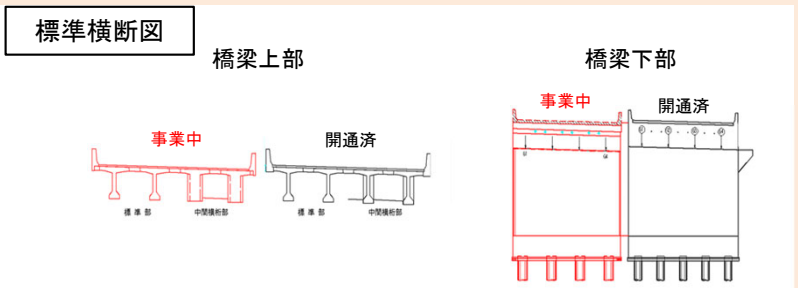
首都圏中央連絡自動車道(神崎IC~大栄JCT)4車線化工事の課題

○圏央道の神崎IC~大栄JCT間の4車線化工事については、工事の入札不調や借地交渉の結果による工事用進入路の構造変更のため、工事着手の遅延が発生。



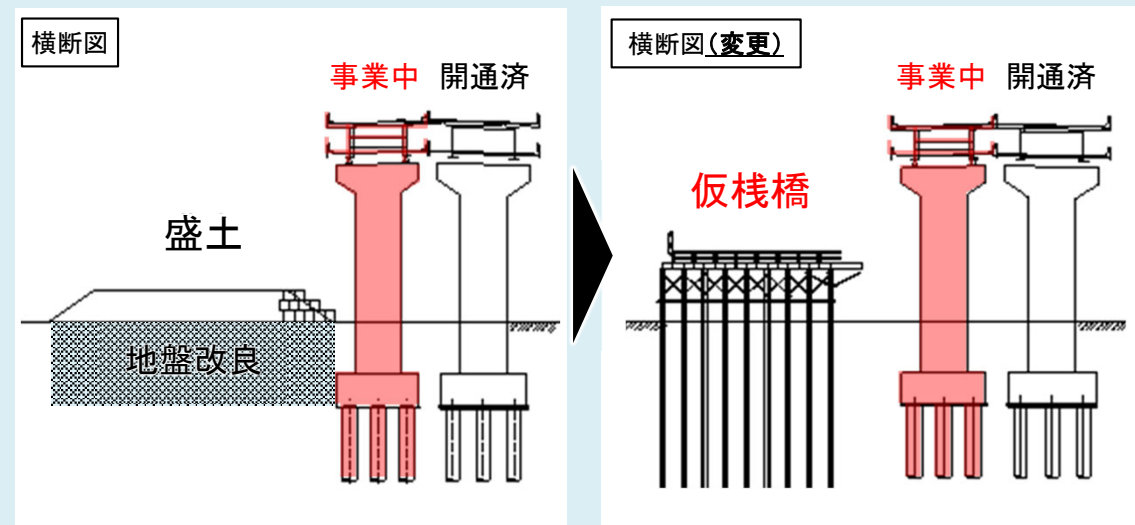
課題① 工事の入札不調

橋梁工事の工事発注手続きにおいて、複数回の入札不調が発生

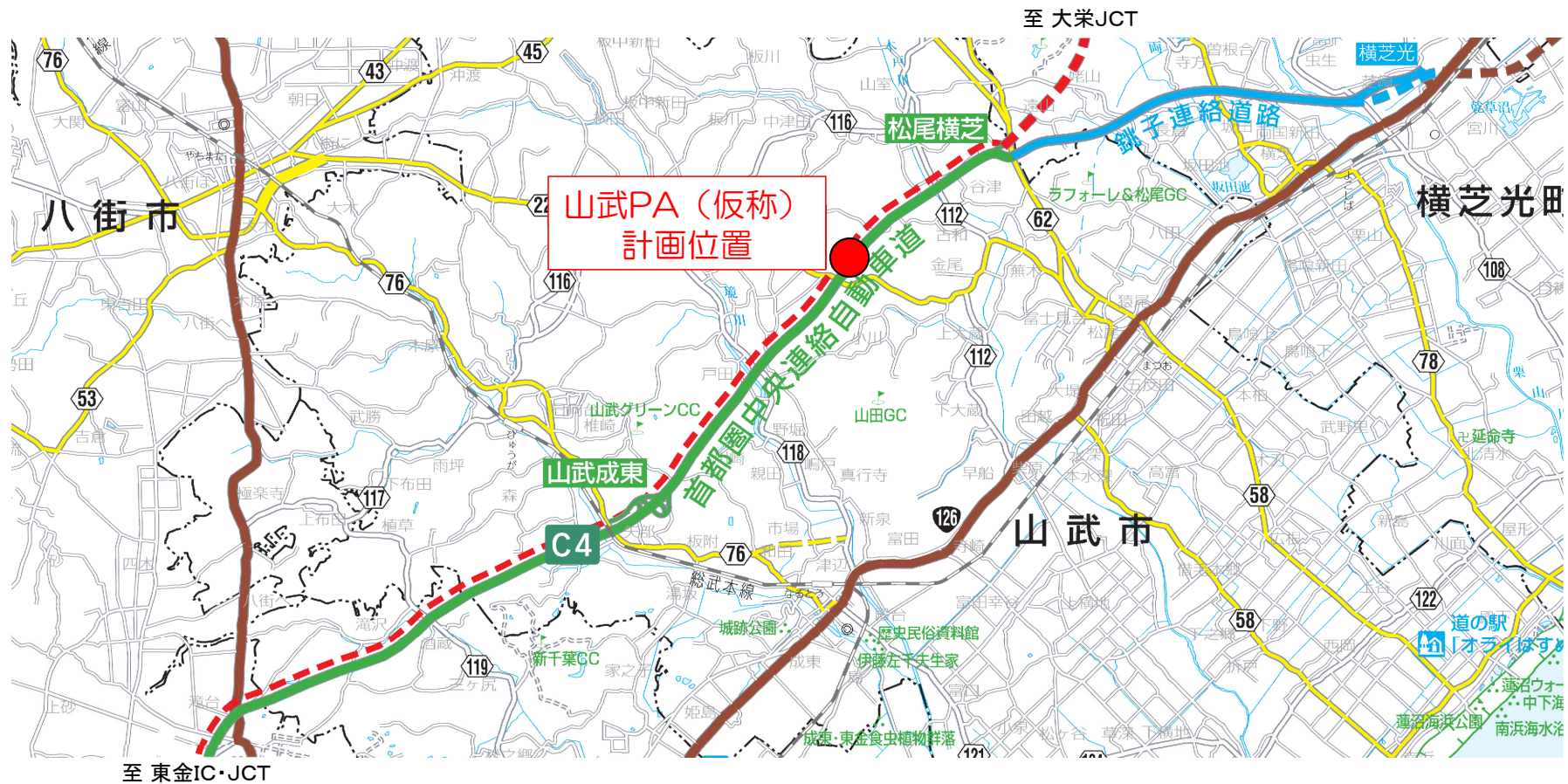


課題② 工事用進入路の構造変更

借地交渉の結果により、工事用進入路について、盛土から仮栈橋への構造変更が発生



山武パーキングエリア（仮称）の整備について



■現在の状況

- 令和4年度より、測量及び地質調査に着手。
- 現在、測量及び地質調査が完了しており、概略設計を実施中。

■今後の予定

- 概略設計完了後、地元への説明会を開催し、用地取得に向けた境界確認、幅杭設置に着手。
- 圏央道（大栄JCT～松尾横芝IC）の進捗状況も踏まえ、早期供用を目指し、用地取得及び工事を推進していく。